

みんなの ひろば



※上の黒点は、題字と同じ内容を
点字で表したものです。

主な 内容

- [特集]「岩手県社会福祉事業団支援検討会」
の取組み 2、3
- 事業団のいいものいっぱい！ 4、5
- 総合防災訓練の取組み、走友会の紹介 6
- シリーズ 時の足跡～15年を振り返って～ 7
- 平成26年度職員提案制度入賞者
- 平成27年度実践報告・実務研究論文
- 「働く」
～全国大会のシンポジストとして参加して 8
- 新採用職員紹介

122号

平成27年12月1日
発行

やさわの園



すてきな衣装で
Let's dance!
ノリノリです♪



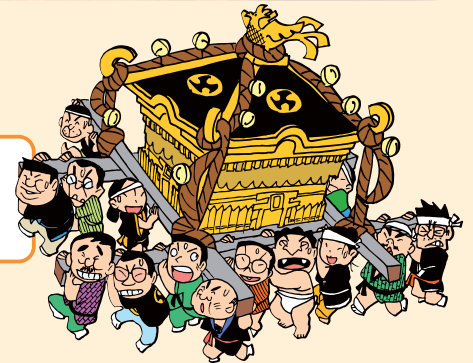
りんどう



照れながら
みんな
ラジオ体操!!



おめえ～ども、
まじゃれ～。



岩手・八幡平
エリア担当部

楽しんでますか～？「はい！とっても」

～みんなの笑顔は元気の源～

行動

行動障がい支援検討部会

支援現場から、行動障がいのある方への支援に苦慮しているとの職員の声を耳にすることがあります。それは障がい特性が分からずに支援方法が確立されていないことが要因と考えられます。

そんな中、国では平成25年から「強度行動障害支援者養成研修」が開催され、当事業団の職員5人が受講し、今後従事者として身に付けるべき知識や支援計画の立案方法を学んできました。その5人を含む11人で、昨年9月から行動障がいのある方へのよりよい支援を目指して活動を開始しました。今年度は新たな委員を加え、15人で活動しています。

本部会では、施設での実践に活かせるよう充実した支援会議の方法を学ぶため、事例を用いた検討を行うこととし、進め方のツールとして、ピカジップ法を用いました。「ピカジップ法とは、「批判しない」「記録をとらない」という約束のもとに参加者の知恵と経験から、事例提供者に役立つ新しい取組みの方法や具休策のヒントを見出していくプロセスを学ぶグループ体験です。事例ではなく、事例提供者が主役となり、気づきや成長を促すこの方法を施設に持ち帰り、支援会議を開催しています。

みたけ学園、やさわの園では、検討部会委員も参加し、「ピカジップ法を用いた

高齢

高齢障がい者支援検討部会

当事業団の施設の大きな課題の一つが、利用する方々の高齢化です。加齢に伴う疾病や通院、心身機能の低下による日常生活動作に係る介助の負担や転倒、誤嚥などの事故が増加しています。また、「家族自身の高齢化に伴い財産管理や権利擁護などの対応が求められるようになり、支援内容が大きく変化してきています。

特に日中活動の取組みは、身体機能の低下や医療的ケアへの配慮から、作業的な活動から余暇的な活動へと移行し、現在では、活動そのものへの参加も難しくなっている方が増えてきているという現状があります。

高齢障がい者支援検討部会では、こうした支援内容の変化に対応し、身体機能や生活状況にあったサービスを提供するための取組みや支援方法、技術について検討を行うことを目的としています。

まず、「身体機能の維持」ということに着目しました。検討する中で利用者の高齢化問題は、過去の支援の蓄積があったからこそその成果ではないのか(特に中山の園において)という意見があり、利用者が20代、30代の頃の支援内容や実践してきたことを検証し、現状とのギャップを明確にする中で、今後の活

事例検討を実施しました。初めてピカジップ法を行った職員は、利用者を深く理解すること、支援の気づきやヒントを得ることが体験できたと感じたようです。今後、みんなで作り上げるプロセスを多くの職員に体験してもらいたいと考えています。

利用者の困り感の解消と、職員の支援力を向上させる支援会議の方法を作り出せるような活動を続けていきたいと思えます。

(座長 療育センター障がい者支援部長 中村 光一)



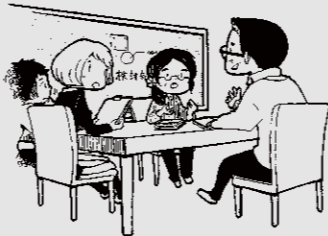
ピカジップ法で検討会をやってみました。(やさわの園にて)

スキルUPを目指して 支援検討部会

「行動障がいを有する方への支援に悩んでいる」という支援現場の状況を受けて、当事業団では昨年度、「行動障がい支援検討会」を立ち上げ、事例検討や県外研修の受講等による行動障がいの理解に努めてきました。検討を進める中で、「十分に障がい特性を理解しないまま、支援に当たっていないか」「不適切な支援を行っていないか」といった声が聞かれました。そこで、個々の利用者への適切な支援方法の検討を行い、実践における支援スキルの向上を目指すこととし、今年度は「行動障がいのほか、発達障がい」「高齢障がい者」「触法障がい者」を新たに検討のテーマに加えて、支援検討会を設置しました。現在、それぞれのテーマと関わり深い施設・事業所の職員代表が、4つの部会に分かれて検討を進めており、今回は、各部会の検討経過についてご紹介いたします。

発表会

日時：平成28年1月29日(金) 12時半から(予定)
場所：ふれあいランド岩手
今年度のみとめとして、各支援検討部会の取組みについて発表します!



発達

発達障がい支援検討部会

今年度から始まった、発達障がい支援検討部会は、構成メンバーの半分が相談支援業務に従事している中堅職員、残り半分が若手の職員です。相談支援に従事している職員は発達障がいの方に対する支援を数多く経験していますが、若手の職員の中には、「発達障がい」って聞いたことあるけれど、わかるようなわからないような...」という職員もおりました。

このような構成メンバーで、何をどのように取り組めばよいのか、不安いっぱいでしたが、「理由や原因、それに対処するにはどのような手段が考えられるのか、いくつかの方法を柔軟に考えよう」「結果をイメージしながら、よりふさわしいものを選ぶ」という過程を丁寧に繰り返し、支援力の向上を図りたい、「積極的に意見を発信できるように」という思いで、手探り状態ながら、この検討会をスタートさせました。

1回目の検討部会では、皆緊張した面持ちで硬さも見られましたが、回を重ねるごとに、意見を出し合える雰囲気になってきました。メンバーから、「基本を押さえない」との提案が出され、「発達障がいの理解を深めよう!!」と発達障がいのキホン(基本)の「キ」を学ぶ学習会」と題し、検討部会メンバー以外にも声を掛け、50人程度の学習会を開催したほか、「いろいろな事例を学んでみたい」「アセスメントについて知りたい」等、前向きに学びたいという声を受けて、入所施設の発達障がいの事例について取り上げ、よりよい支援方法について検討したりしています。

発達障がいの方への支援は、今後ますます必要性が高まると考えられ、この検討会での取組みが、支援現場に還元できるものとなるように、また、人材育成にも寄与するものとなるように、若いパワーを強みに、検討を進めていきたいと思えます。

(座長 みたけ学園業務係長 榎林 みず穂)



僕の世界をアートで表現

よつに、この思いからです。

相談支援事業所、共同生活事業所や地域生活定着支援センターなどの関係機関との連携や役割分担についても、整理して示すことになっております。

自分のことをきちんと相談し話を聞いてくれるという信頼できる人もおらず、排他的か利用される立場など適正な人間関係が持てなかつたことが犯罪の根底にあるのですが、「犯罪行為に至った障がい者を受け入れ支援すること」で、他の利用者や施設近隣の住民等に迷惑をかけることにならないだろうか。「もし、再犯に至った場合の施設としての責任は、どうなるのか。」などマイナスイメージだけが先行しやすい状況はないでしょうか。

「罪は既に償っている」ので、支援内容自体は他の障がい者となら変わりがないこと、「本来、福祉サービスにつながるければ、犯罪行為に至らなかつたかもしれないこと」など、むしろ積極的に関わっていく必要があることを理解した「支援における価値観の統一」が、求められます。

環境が整わないうちに同じことを繰り返して起し、何度も刑務所と一般社会の往復という生活が続ぎ、再犯ごとに刑期が長くなり、一層、一般社会への適応が難しくなっている人達がいいます。

障害者福祉に関わる社会福祉法人として、新たな展開が一層求められています。

(座長 若手県地域生活定着支援センター 所長 那須 秀逸)

触法

触法障がい者支援検討部会

当事業団は、これまで触法障がい者を救護施設や障害者支援施設で多く受け入れ、支援してきた経緯があります。

しかし、その支援については、現場での暗黙知のスキルによるところが多く、法人として言語化、文書化されないうままにまわっている現状がありました。そこで、「触法障がい者支援検討部会」を設置し、事例による参考集を取りまとめることとしました。

マニュアルではなく参考集としたのは、対象者の現在に至るまでの背景が異なり、ひとつの方法だけでは支援が困難なことから、参考事例集として幅広く活用できる



「健康活動チャレンジ月間」体操の様子(こぶしにて)

フラワーガーデン

すてきなお花飾ってみませんか?



花台(大) 600円 寸法:幅約60cm×高さ約26cm

松山荘(宮古市)

Tel 0193-62-7921 Fax 0193-64-3530

必見

☆あの牛乳パックが!



油工コたん(5個入り100円)
は、廃油を吸わせるだけでなく、レンジ周りの掃除にも使えます。(左側写真)



レターセット(100円)
は、漉き手の技量が光る一品です。親しい方へ送ってみませんか?(右側写真)

あなたに送りたい♡

ジョバンニ(花巻市)

Tel 0198-31-2233 Fax 0198-29-6535



ホワイトロック(150円)
は、くるみがた〜っぷり入った自慢のクッキー。コーヒーとの相性もバツグンです!

「ほっと」したい。。。

自家焙煎コーヒー各種(100g 400円)
豊かな香りがあなたを癒します。

- ・コロンビア
- ・キリマンジャロ
- ・ピーベリー



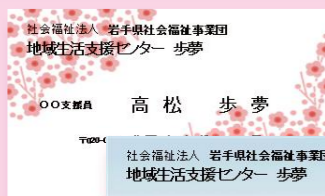
松風園(花巻市)

Tel 0198-45-3016 Fax 0198-45-3017

いいもののいっぱい!

事業団の事業所製品等を紹介します♡

「はじめまして!」



点字名刺印刷(10枚 130円~)

あなたも点字入りの名刺作りませんか?デザインは、この他にもサンプルがあります。ぜひ、ご相談ください。



大人気!
歩夢日替弁当(400円)

歩夢(盛岡市)

Tel 019-662-6852 Fax 019-662-6872

ビタミン補給に!!!

小松菜(250g 100円)

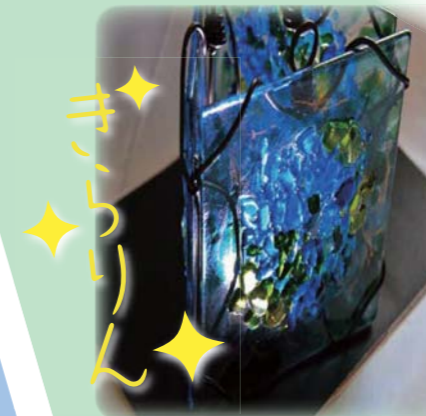
平成26年度より試行的に開始した水耕栽培で、小松菜をメインに葉物を栽培しています。1か月に1~2回の収穫で、近隣飲食店等に販売しています。小規模栽培のため、収穫量は少なめですが、試行錯誤しながら安定した収穫を目指しています。そして、新たに小松菜などの野菜を使った「野菜パウダー」の商品開発をスタートしました!



ワークなかやま(一戸町)

Tel 0195-35-2067 Fax 0195-35-2067

優しい火丁りがあなたを包みます



きららのあかり(左写真)(15cm角 5,000円・12cm角 3,000円)
きらりんピン(200円)(下写真)

工房では、オリジナルのガラス製品がこのほかにもたくさんあります!

個性的な画びょうがいっぱい!



みたけの園 工房 来夢(滝沢市)

Tel 019-641-0205 Fax 019-641-7460

平成27年度 総合 防災訓練

11月10日、平成27年度総合防災訓練を実施しました。法人全体で行う防災訓練としては、昨年度に続いて2回目です。

今回の訓練は、施設及び職員の自然災害への対応力の向上、災害発生時における組織的な応急対策の確認と検証等を行うとともに、職員の防災意識のさらなる高揚を図るため、初動体制の確立から応急活動等、発災から3時間までの「初動段階」に焦点を絞った内容としました。

災害の想定は、平成23年4月7日に発生した宮城県沖地震（最大震度6、マグニチュード7.4）と同程度の地震発生です。

各施設が当日対応する内容については、現地本部設置や現地対策本部会議の実施などの「初動体制の確立」と、利用者・職員の安否確認、施設等の安全確認及び被害状況の報告などの「被害状況の把握」までを共通条件（被害なし）とし、その後、災害対策本部から「建物全損」、「建物一部損壊」、「停電・断水等」、「火災発生」、「負傷者発生」、「避難者等誘導」の条件の中から1項目について各施設に個別

条件として付与され、各施設はそれに応じた対応を行うという、抜き打ち的な要素を含む内容としました。

事業継続計画（BCP）や防災関係マニュアルの確認をはじめ、訓練の際の手順や担当など、法人全体で事前の準備を進めてきましたが、実際、訓練を行ってみると、予想以上に数多くの課題が明らかになりました。

事業継続計画（BCP）は、このような訓練を通して随時改善や修正を行っていくことが重要となります。

今回の総合防災訓練の評価・検証をしっかりと行うことで、より実効性のある事業継続計画（BCP）にしていきたいと考えております。

（事務局 管理主査 山口典秀）

絆なランナーズ!



私たち走友会は、チームワークをモットーに「楽しみながら走る」を最大のテーマとし、日々励んでいます!

若手県社会福祉事業団走友会は、事業団を明るく元気にしようと、走るのが好きな職員を募り、皆さんの応援カンパをいただきながら平成23年5月14日に会を立ち上げました。

走友会の最初の活動は「いわて銀河100km駅伝」への参加で、アップダウンの激しいコースの中、選手の頑張りやスタッフのサポート、そして和光学園の児童・職員の応援を得て、好成績を残すことができました。以来、毎年エントリーし、今年度はこれまでの記録を塗り替えることができました。中には50kmまたは100kmランに単独で参加するメンバーもおり、厳しく長いコースを自分と闘いながらゴールに向かってひたすら走っています。その他、メンバーは県内のみならず、近県、東京マラソン等数多くの大会にエント



訓練の主な流れ

平成12年4月、初任地として花巻にある「やさわ学園」に配属になり、そこから数回の異動を経て、現在も「やさわの園」に勤務しています。



やさわの園 生活支援員
千葉 真也

採用から15年過ぎてしまふとあつという間のように感じますが、これまでの一日一日はとても充実しています。特に採用されてからの数年は、豊富な経験と知識をもった先輩職員がいつも周りにいましたので、その先輩方から利用者の支援に関することや仕事の進め方などについて指導を受けつつ、自分でもたくさん吸収しなければならぬという思いで精一杯だったように思います。

日々の業務の慌しさに流されて、ただただ月日が経ち、なんとなく現状に満足してしまふようになることもあります。これからは利用者やそのご家族、地域の方々から必要とされる法人であり続けるため、「常にお客様の立場になって考える」ということを念頭に置きながら支援にあたっていきたいと思っています。また、現状からさらにステップアップできるよう、自己啓発を積み重ねて専門性を高めつつ、常に自分自身に刺激を与えながら日々進んでいきたいと思っています。

シリーズ 時の足跡

15年を振り返って



あれは15年前のことでした。事務局での辞令交付式を経て、心細い思いを抱えながら同期と別れたのが平成12年の春。それぞれの職場で悩みや理想、願いを抱えながら、おかげさまで勤続15年を迎えることができました。

福祉とは関わりのない勉強をしてきた自分にとっては、スタートラインは誰よりも後方でした。就職してから毎日勉強で、利用者支援、先輩職員や上司からの助言、外部への研修等に派遣していただきながら、失敗を繰り返して身を以て学ぶ日々でした。クリーニング作業を通して利用者支援を行う中で、「学ぶものが人より多い」ということが、今でも自分自身の働くモチベーションとなっています。

「15年」は、職業人人生として中途半端な年数ですが、その間にもいろいろな変遷があったように思います。当時の障害者福祉制度はいわゆる措置制度でした。そこから支援費制度、障害者自立支援法を経て、現在の障害者総合支援法へ移行し、15年の間に4つも制度が変わっていきました。それに伴い、利用者の皆様を取り巻く環境も大きく変動していったように思います。これからは様々な変動が訪れるかもしれませんが、15年前、辞令交付式で理事長から「今日の皆さんの輝く目を見て、改めて採用して良かったと思えました」との話を思い出して、その頃の目で自分は働き続けているだろうか、日々問いかけつつ、変わってゆく社会や、人に対し、よりよい支援に努めていきたいと思っています。



相談支援事業所「しょうほう」
主任相談支援員
菅原 諾子

平成26年度職員提案制度入賞者

(※所属は平成26年度)

●金賞
○立花 陽一 (こじ)

「救急搬送、緊急通院時の持ち出しバッグの活用について」

●銀賞
○小田嶋 玲子 (視覚障がい者情報センター)

「自館製作点字図書オンデマンド印刷方式の導入について」

○田中 宏行 (いわて子どもの森「スムーズな電球交換」)

●銅賞
○西館 洋子 (中山の園 若手・八幡平エリア担当部)

「誰でもわかり易い表示」

○白畑 勇 (和光学園「マニュアルのデータを揃える」)

平成27年度実践報告・実務研究論文

今年度 全国社会福祉事業団協議会の実践報告実務研究論文に当事業団から6編応募し、1編が入賞しました。

佳作

入賞者
中山の園 若手・八幡平エリア担当部
サービス管理責任者 佐藤 和敏
テーマ
「利用者皆さんが自分で決める
日中活動の提供について」

「働く」

共同生活事業所「みたけの園」

福島 ミドリ

平成27年9月26日、名古屋市で開催された全国手をつなぐ育成会連合会本人大会に、共同生活事業所「みたけの園」のグループホームに入居している福島ミドリさんが、「働くこと相談」の分科会のシンポジストとして参加しました。

福島さんは、最初に就いた仕事を続けることができませんでした。今は憧れていたホテルでの仕事をしており、仕事をする中で、「障がいがあっても、障がいのない人と一緒に働ける」喜びを実感しています。

福島さんは、挫折を乗り越え、再就職し、充実した生活を送っています。今回、分科会のシンポジストに選ばれ、障がいのある人たちの仕事の励みになればとのこと、働くことの素晴らしさを発表してきました。

軽く自己紹介したいと思います。私は、岩手県からきました。福島ミドリともうします。岩手県は、とってもきれいなところです。春は山にのぼって桜をみに行ったりします。とってもいいところ。一本桜は、とってもきれいです。でも、

岩手にいるのに、一本桜をみたことがありません。テレビでみました。とってもきれいです。

では、こんかいのテーマに入りたいと思います。私は、働く意味がわからなかったです。障害者が働けるのは、一般の人とちがつて、ゆつくりペースで、あまりお話がとくじやなくて、毎日ひとりだなどって思っていました。でも、施設に入ると、職員と、いろんなおてつだいや、いろんな作業をして外にできるきかひがあつて、障害者が働いているのを見て、私も、お仕事をできるんだって思いました。キラキラしたのを見たかんじ、しゃんと胸をはつて、どうどうとしたすがたを見て、すごくかんどうしました。

初めて仕事について、いろんな人とお話をし、いろいろ学んで、経験できて、お話しもじょうずになりました。初めて、お給料をもらつて、お金を見たとき、私もやくにたつていたんだって思いました。でも、お給料はただではもらえなくて、うまくいなくて、注意されて、泣いて、また、おきあがつてできるように、



堂々と発表する福島さん。スピーチの最後には、参加者から笑いが起きたようです。

がんばつて、今日はすごいね、がんばつたね、ついでわかれてうれしかったです。おぼえた仕事をみずからすすんでできたとき、いろんな人が協力してくれたり、けんじょうしゃの人が一つになって、わになつてお仕事をしているとき、自分を作ることでできました。うれしかったです。あんまり、けんけんできないことだと思ひます。私は、まげずきらいなせいかくなので、できるようにがんばつていきます。

私のはたらいっているところは、盛岡にある「東横イン盛岡駅前」です。やさしいスタッフや、メイクさんとはたらいています。お風呂掃除、ベッドメイキング、トイレ掃除、仕上げをしています。私のおこがれのしよぎようでした。ゆめでした。

今は、11へやをたんとつています。しよらいは、14へやできるメイクになりたいです。すきな服やくつとか、好きなごはんを食べべにいたり、りよこうにいたり、お金をぜんぶ使わないように職員がおうえんしてくると、好きな事ができると思ひます。しよことができるのは、少しでもよりそつて、お話を聞いてくれたり、気持ちあげあげにしてくれて、とつても毎日お仕事とか、にんげんかんけいとか聞いてくれる職員のおかげもあります。じみちにこつこつとがんばりたいと思ひます。

本日は、おまねぎいだいてありがとうございます。岩手にきたときは、東横イン盛岡駅前南口駅前にとまりにきてください。福島ミドリのめいしがあつたときは、一日ハッピーだと思ひます。

8月1日採用
(一般職)



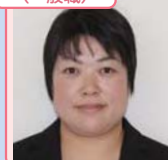
共同生活事業所「みたけの園」

生活支援員

あべ かなこ
阿部 佳奈子

初心を忘れず、常に学び続けていきます。

8月1日採用
(一般職)



かたくり

生活支援員

にし やま あき こ
西山 明子

笑顔を忘れず、一生懸命頑張ります！

8月1日採用
(一般職)



松山荘

生活指導員

いとう たくあ
伊藤 豊

よりよい支援ができるよう頑張ります。

8月1日採用
(一般職)



やさわの園

生活支援員

とがわ み お
戸川 未央

笑顔を忘れず前向きに頑張ります。

8月18日採用



療育センター育成部

看護師

さわ だ よう こ
澤田 洋子

良く食べ良く眠り、毎日元気で頑張ります！

9月1日採用



療育センター看護部

看護師

にい ぬま みつこ
新沼 美津子

いつも笑顔でGood jobを目指します。

8月1日採用
(一般職)



松山荘

生活指導員

しば た たけし
柴田 武

心機一転頑張ります。